

新型コロナウイルスPCR検査 採取容器と梱包手順

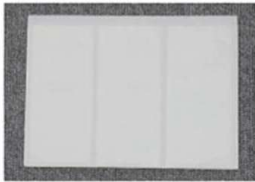
検体採取容器

【検 体】 鼻咽頭ぬぐい液 【適 用】 鼻腔ぬぐい	滅菌スクリーキャップ容器にPBS等1〜3mlを添加の上、検体採取した綿棒を容器に封入  スクリーキャップ付き滅菌チューブと滅菌綿棒 +  滅菌整理食塩水、PBS (貴施設にてご用意ください)	
【検 体】 下気道由来検体 【適 用】 喀 痰	 スクリーキャップ付き滅菌チューブ	【検 体】 唾 液 【適 用】 唾 液  ストロー付容器の 取扱もあり 遠沈管 15mL (緑キャップ)

使用禁止容器

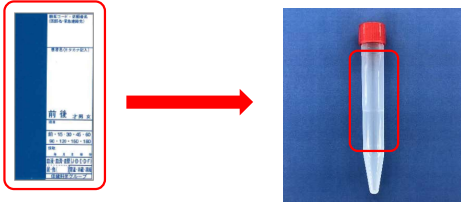
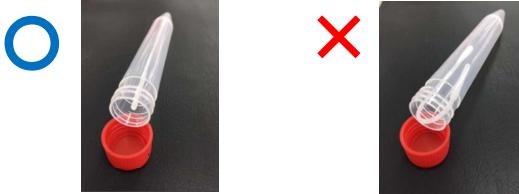
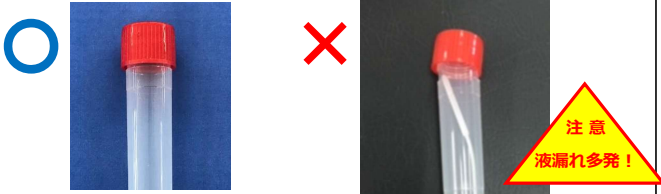
 ① ② ③ 使用禁止	これらの容器は使用不可となります ① eNAT : 溶媒に検査を阻害する物質が入っている ② 滅菌喀痰採取容器 : 凍結による容器破損の可能性があります液漏れしやすい ③ はめ込み式キャップ容器 : 開栓時に内容物が飛び散りコンタミの危険性がある
---	--

梱包資材

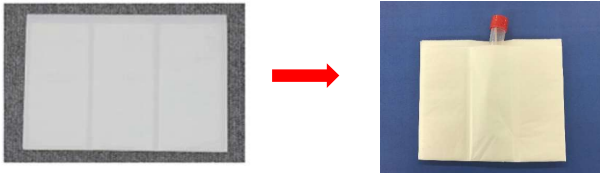
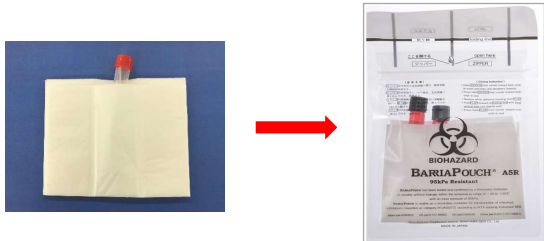
①  ① 検体ラベル : 受診者名記載用ラベル	②  ② 吸水シート : 試験管の干渉防止 液漏れ吸水シート
③  ③ バリアパウチ : 安全に輸送できる 耐圧・密封パウチ袋	④  ④ バリアボックス : 非防漏性ボックス

検体梱包方法

一次容器（検体採取容器）

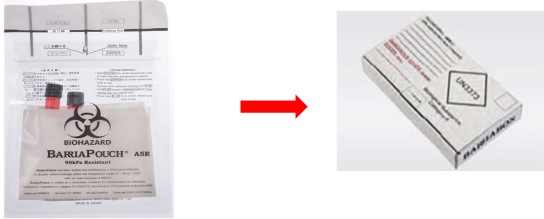
手 順	注意事項
① 1次容器（採取容器）に検体ラベルを貼り付ける 	ラベルが貼れない場合は、容器に直接患者名(カナ)と番号（カルテ番号または通し番号）を記入
② 付属綿棒で検体を採取後、綿棒を折りきって 一次容器（PBS等入り）に格納 	綿棒の 折り曲げ封入厳禁（開封時に綿棒が飛び跳ね大変危険） 綿棒は必ず 折り切ってください 唾液採取の際は容器外側に唾液がつかないように注意
③ キャップをしっかりと閉め、容器外面をアルコール等で拭き取る 	キャップがしっかりと閉まっていることを確認してください 検体漏れの場合は検査をお断りさせていただく場合があります 注意 液漏れ多発！
④ 液漏れ防止のためキャップをパラフィルムで固定（必須） 	パラフィルムは キャップが閉まる方向に巻く （キャップが開く方向に巻くとキャップが緩み危険） パラフィルム以外（ビニールテープ、サランラップ等）の代用不可

二次容器（吸水シート、バリアパウチ）

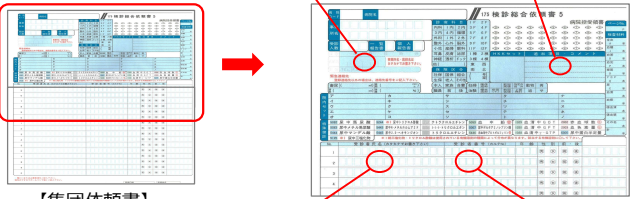
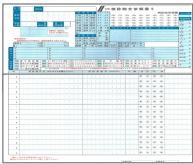
手 順	注意事項
① 一次容器を吸水シートに入れる 	1 ポケットに 1 検体のみ入れる
② バリアパウチに吸水シートごと検体を入れる 	吸水シートの代わりにキムタオルでも代用可 

③ バリアパウチのジッパーをしっかりと閉め、シールで封をする 	検体材料ごとに二次容器を分ける（異なる材料の同梱厳禁）  丸めてから封（シール）をするのは厳禁 （ハサミを使わないと開封できなくなるため）
---	---

三次容器（バリアボックス）

手 順	注意事項
① 検体を封入したバリアパウチをバリアボックスに入れ セキュリティシールで封をする（二次容器を複数封入可） 	バリアボックスの中にドライアイスは入れないこと

依頼書

手 順	注意事項
下記4か所は必ずご記入ください 至急 と FAX の両方 材料名  【集団依頼書】 最大20名まで依頼可能 受診者名（カタカナ） カルテNoまたは通し番号	
三次容器まで梱包された検体と依頼書を当社集配員にお渡しください。 検体採取から三次容器への梱包までは貴施設でご対応お願い致します。  + 	

新型コロナウイルスPCR検査 検体採取チェックリスト

- | | |
|------|--|
| 一次容器 | ☐ 容器に検体ラベルが貼ってある |
| | ☐ 検体ラベルに受診者氏名（カナ）が記入されている |
| | ☐ 綿棒は 折り切って 容器に格納されている（折り曲げ厳禁） |
| | ☐ キャップがしっかり閉まっている |
| | ☐ 容器外面をアルコール等で拭き取ってある |
| | ☐ キャップはパラフィルムでしっかり固定してある |
| | ☐ パラフィルムは キャップが閉まる方向に 巻かれている（逆だと緩みやすい） |
| | ☐ パラフィルムはキャップに1周巻ききってある |
| | ☐ ビニールテープ、サランラップ、セロテープ等をパラフィルムの代用に使用していない |
| 二次容器 | ☐ 吸水シートの1ポケットには1検体のみ入れてある |
| | ☐ バリアパウチのジッパーがしっかり閉まりシールで封をしてある |
| | ☐ 異なる検体材料を同じバリアパウチに封入していない |
| | ☐ バリアパウチを丸めてからシールをしていない（開封困難の原因） |
| | ☐ バリアパウチの中にドライアイスを入れていない |
| 三次容器 | ☐ バリアボックスの中にドライアイスを入れていない |
| | ☐ セキュリティシールでバリアボックスに封がしてある |
| 依頼書 | ☐ 検査材料が記入されている |
| | ☐ 「至急」と「FAX」の両方に○が記入されている |
| | ☐ 受診者氏名（カナ）と番号（カルテ番号や通し番号）が記入されている |